

## (4) 全国植樹祭準備室の事務・事業

農林部全国植樹祭準備室は、2023（令和5）年1月に設置（当初は環境部内）されて以来、第75回全国植樹祭の主催者である埼玉県との連携のもと、開催機運の醸成のための各種取組や、関係各所との準備・調整を行ってきました。

2024（令和6）年度は、引き続き普及啓発のための各種物品の作成・配布や、関連イベント実施などのPR活動を推進しました。特に、市内路線におけるラッピングバスの運行や、街路灯フラッグの設置などを通じて街全体を植樹祭ムードにする取組を行ったほか、市独自の1年前記念イベント「秩父グリーンフェスタ」、200日前記念イベント（西武鉄道共催）、100日前記念イベント（県および秩父地域主催）等の開催により、積極的なPRを行いました。



市が作成したラッピングバス

また、秩父地域1市4町1村の行政、商工・観光、森林・林業関係団体等で組織された「第75回全国植樹祭秩父地域推進委員会」では、PR看板等の設置、オリジナルPR用物品の作成、地域の酒造メーカー協力による限定ラベル事業など多岐に渡る事業を展開しました。

2025（令和7）年5月25日（日）、天皇陛下の御臨席のもと、秩父ミュージックパークを主会場として第75回全国植樹祭が無事に開催されました。同日、市内中心部では、天皇陛下の秩父神社御視察に伴う奉送迎、市記念事業、市主催のパブリックビューイングが開催され、多くの市民がこの歴史的行事に参加しました。



天皇陛下によるお手植え

今回の植樹祭では、健全な森林を将来につなげるため「伐って・使って、植えて、育てる」という持続的なサイクルを回すことの重要性に焦点が当てられ、私たち一人一人が木材を積極的に利用していく「活樹（かつじゅ）」というキーワードが提唱されました。広大な森林を有する本市においてこの「活樹」を永続的に実行していくためにも、森林環境譲与税等の財源を有効活用しながら、豊かな森や水の恩恵を享受する自治体間の連携がさらに活性化していくことが望めます。

### 【全国植樹祭とは】

豊かな国土の基盤である森林・みどりに対する国民的理解を深めるため、毎年、公益社団法人国土緑化推進機構と開催都道府県との共催により開催される国土緑化運動の中心的行事です。例年、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、県内外からの多くの参加者と共に、式典行事や記念植樹が行われています。